

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：医学系】

大 学 名	久留米大学	整理番号	F - 1
拠点のプログラム名称	先端的な癌治療研究の拠点		
中核となる専攻等名	先端癌治療研究センター		
事業推進担当者	(リダー) 平野 実 外19名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>本拠点形成計画は世界最高水準の「癌治療研究」実施による新規癌治療薬や治療法を開発し、癌 征圧をもって世界に貢献することを主目的とする。具体的には以下の3プロジェクトの世界的研究拠 点を形成する。 免疫多型に基づく癌ペプチドワクチン研究拠点。 肝癌予防/肝癌治療研究拠点。 癌の分子標的治療研究拠点。いずれの研究も、“個々の患者の病態を正確に捉えて有害事象の少 ない有効な治療薬や治療法を提供する”テーラーメイド医療を目指し、研究方法としては従来の基 礎や臨床研究という縦割り型ではなく、探索的臨床研究という創薬に直結する研究方法を採用する。 本拠点形成研究は主として先端癌治療研究センター（平成8年度設立）及び集学治療センター(平成 10年設立75床)にて推進する。また、同研究は平成15年度改組の大学院医学研究科個別最適医療系 先端癌治療学部門との共同研究として、更に久留米大学産学地域共同機構を中軸に全国の製薬会社 や地方自治体と共に先端的癌治療研究推進体制を構築する。本拠点研究成果の平成18年度の医薬品 承認を目指す。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>がん免疫に関する基盤研究に立脚した臨床応用研究であり、構想も充分検討され、実績は高く評 価できる。計画も着実であることから、拠点形成の実現性が期待できる。大学の絶大な支援も成功 への期待を高めている。</p>			